



二次交通の充実が望まれる(いわて花巻空港ターミナル)

近村 晴男 議員
(花巻クラブ)

Q 大迫高校を存続させ、地域密着型の特色ある高校にしてほしいと願う市民の声に対し、これまで

大迫高校存続に対する考え方

交通手段の解決が最優先

の市の対応が問われているが、県教育委員会に申し上げてきた意見と今後の対応について伺う。

A (市長) 生徒の確保対策や県との意見交換の場も設定してきた。交通手段が高校選択の大きな要素となっていることから、この問題が解決されない

花巻・花巻間の二次交通充実へ

高橋 勤 議員
(明和会)

Q 平泉の世界遺産登録を契機に、国内外の観光客の増員を図る上で、花巻空港の利用向上への施

策を強力に展開し観光客誘致の促進運動に取り組むことについて伺う。

A (市長) 花巻空港の滑走路延長、並行誘導路の整備完了やターミナルビルの増築により定期便や大型航空機就航やチャーター便の効率的運行が可能となり利便性が向上し

た。空路を利用した観光客の動向は、仙台空港利用客の宿泊の動機づけを図るために、花巻へ来やすくする二次交通の充実や平泉に遠野をえた広域観光企画を展開する。

Q 水道施設の老朽化によると更新、地震などの災害に備えた施設整備の計画案、広域的な応援協力体制は整備できているか伺う。



新設された花巻北消防署(石鳥谷総合支所南側)

A (上下水道部長) 水道施設の老朽化更新、耐震化を計画的に実施できるよう、水道事業の広域化により経営基盤の強化を図る。

市民の安全・安心のため勤務しているわけだが、今後、東和・大迫両消防分署職員が削減されるとなれば、これまでどおりの消防ポンプ車と救急車との二部門体制が維持されるのか伺う。

A (消防長) 市民の安全・安心を守るために効率的な体制を構築するための整備であり、市民の理解を願いたい。装備などを従来の体制を維持する。

豪雪交通情報はなされていない

災害時ににおける緊急放送

板垣 武美 議員
(地域政党いわて)

Q 本市は、昨年9月に開局した「えふえむ花巻株式会社」と協定を締結し、「災害及び防災に関する情報」を市民に提供されたのか伺う。

A (総務部長) FM放送との協定は、気象警報が発令された場合、あるいは

Q 平成23年度に、各地域自治区が最優先で取り組む地域課題は何か。

A (大迫石鳥谷・東和各総合支所長) 大迫地域は、県立大迫診療所問題。石鳥谷地域は、商店街の活性化や観光資源の葛丸渓谷の在り方。東和地域では、統合東和小学校の交通安全対策や旧6地区の小学校跡地利用および商店街の顔づくりの推進などをそれぞれ重要な課題としている。

Q 大迫地域の大迫高校の存続の声をどのように受け止めているか。また、地域の声を受け止めて市

として、県教育委員会に対して、どんな意見や考え方を述べてきたか。

A (教育長) 地域の皆さんから存続を望む多くの声があると受け止めてい

う問題を解決できなければ、県の考える再編がうまくいくとは思えないの

若柳 良明 議員
(平和環境社民クラブ)

まから存続を望む多くの声があると受け止めてい

う問題を解決できなければ、県の考える再編がうまくいくとは思えないの

で、当面、存続させる方向で検討すべきとの意見を述べてきた。

A (総務部長) 現在、臨時補助員は269人である。また、通勤手当は、現状を見れば職員給も減額の方針にあり慎重を期さざるを得ない。一方で、保育士資格者を一定数確保することは、考慮していかなければならないと考えている。



震災時、市災害対策本部に設置された臨時災害FM放送局

Q 大迫地域の大迫高校の存続の声をどのように受け止めているか。また、地域の声を受け止めて市

として、県教育委員会に対して、どんな意見や考え方を述べてきたか。

A (教育長) 地域の皆さんから存続を望む多くの声があると受け止めてい

う問題を解決できなければ、県の考える再編がうまくいくとは思えないの

で、当面、存続させる方向で検討すべきとの意見を述べてきた。

A (総務部長) 現在、臨時職員の雇用実態はどのようになっているか。また、保育園職場では正規職員比率が41%である。臨時保育士の労働条



保育士の確保が課題となっている

大迫地域の大迫高校存続の声

存続させるべき意見述べてきた

として、県教育委員会に対して、どんな意見や考え方を述べてきたか。

A (教育長) 地域の皆さんから存続を望む多くの声があると受け止めてい

う問題を解決できなければ、県の考える再編がうまくいくとは思えないの

で、当面、存続させる方向で検討すべきとの意見を述べてきた。

A (総務部長) 現在、臨時補助員は269人である。また、通勤手当は、現状を見れば職員給も減額の方針にあり慎重を期さざるを得ない。一方で、保育士資格者を一定数確保することは、考慮していかなければならないと考えている。

A (大迫石鳥谷・東和各総合支所長) 大迫地域は、県立大迫診療所問題。石鳥谷地域は、商店街の活性化や観光資源の葛丸渓谷の在り方。東和地域では、統合東和小学校の交通安全対策や旧6地区の小学校跡地利用および商店街の顔づくりの推進などをそれぞれ重要な課題としている。

A (大迫石鳥谷・東和各総合支所長) 大迫地域は、県立大迫診療所問題。石鳥谷地域は、商店街の活性化や観光資源の葛丸渓谷の在り方。東和地域では、統合東和小学校の交通安全対策や旧6地区の小学校跡地利用および商店街の顔づくりの推進などをそれぞれ重要な課題としている。